十一夕刊 日刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人
印刷人 岡田弘成
福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所 [illegible]活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十五
發行所 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊(日曜、祭日)休刊

大混亂に陷つた 磐銀批判演說會 預金者大會で解散!!!

檢束者數名を出す

舊勞農黨石城支部系一派の主催にかゝる磐城銀行休業批判演說會は十日午後六時から平町平劇場に開かれたが、之より先き午後四時頃主催者山代吉宗、大井川義隆外數名は自動車に乘つて宣傳ビラを撒布し氣勢をあげたので忽ち不穩と認められ平署に檢束された等の事件あり、會場である平劇場内外は開會前から早くも殺氣立つた險惡な空氣に滿されてゐた。入場者約六百余名、平署からは數十名の正私服巡査物々しく警戒をなし伊藤警部補臨監の上開會、辯士は片つぱしから演說中止命令にあひ午後九時頃閉會、閉會後主催者は預金者大會に移る旨を宣し預金支拂を要求する旨の決議文を朗讀しその實行方法は今晩大擧押しかけて決議文をつきつけやうと諮るや不穩と認めた臨監の伊藤警部補は解散を命じた。是に於て聽衆中の山野邊、安藤兩辯護士、吉田五平町議其他數氏は平警察署まで同行を求められ、聽衆は激昂して警察官を罵倒する等混亂狀態に陷つた。會場を出た聽衆は前記數氏が連行された平警察署前に至つて入山を築き又或る一派の數十名は平町紺屋町白井邸附近に群集して不穩の言辭を弄するに至つたので平署ではこゝに又警官數名を派し鎮撫する等大騷動を演じた。

民政黨で 幹部會

十日夜平劇場に於ける演說會の檢束者は山野邊義政、安藤琢磨安藤太郎、吉田五平の各氏で何れも民政黨系の人であるが之がため民政黨では十一日午前中南町民政黨倶樂部に於て善後策協議の幹部會を開いた。

驛から見た 炭礦の昨今

全國的に押寄せた經濟界、事業界への不景氣風はひとり大都市のみならず各町村にまでも影響をおよぼしてゐるが特に常磐炭界への暗流は石炭採掘及びその需要先の如何に依つて自づとその生活を意識せしめらるゝと炭礦從業員にとつては命を縮められる思ひがある、常磐炭界の中心たる湯本驛で取扱つた石炭及び貨車類に對する五、六兩月の調査報告を記すと石炭噸數(五月)五四八四八噸(六月)四九八八四〇噸、貨車數五月四五〇五四車、六月四〇九三車でありこの文字に依つて見れば石炭噸數は一ヶ月間で五、〇〇八噸の減少貨車の出入において四一二車の減少を見てゐる、勿論石炭は一般事業界の不景氣、貨車は夏期に入つての臨時列車の増加運轉に依つてその減少を見たのであらうが察する所炭礦界疲勞の一つの結果と見做すことが出來よう、景氣もその中に恢復するであらうが兎に角地方人の總てに對する重点である炭礦界は當分これ等炭礦從業員の奉仕的努力に依つて一層の光を放たんことを切望して止まぬのである。

在仙石城郷友 所有財產

登記手續き了す

仙臺市に於ける石城郷友會は既報の如く所有財產たる宅地七十四坪畑一反六畝八歩及び建物其他が便宜上本縣所有財產となつて居たが之を同郡に於ける縣會議員若松美三、平町長伏見彥衛氏等財團法人組織となすべく縣に對し右財產組織認可を主務大臣に申請中の處去る四月二十日認可されたので右若松、伏見兩氏は去る十日出縣し縣に對する一切の事務引受を行ひ更に十一日仙臺市に至り仙臺區裁判所に於て總ての財產に對し登記の手續を了する筈である。

亡母供養の事から 實父と意見衝突

長男夫婦の隱れ家を襲つて 平署に告訴さる

好間村大字北好間字上野大河原彌三郎(五二)は今十一日が亡妻の百ケ日に當るので、長男勝美(二四)とその妻フジ(二〇)に酒肴の用意を命じた處、長男夫婦は忌明けの際百ケ日の供養をも行つたのだから必要がないとて意見の衝突となり九日夜勝美の實姉フジヨ(二六)が嫁いでゐる同村今新田字細谷久保木治郎吉(三六)方に逃れたが、之を知つた彌三郎は燒酎五合程をのみ十日午前一時頃治郎吉方に至り雨戸を叩いて亂暴したので治郎吉は義父である彌三郎を家宅侵入罪として十一日平署に告訴した

木賃宿の 女將を襲ふ

犯人嚴探中

平町六丁目木賃宿濟水屋方に九日午後十時頃一人の男忍び入り女將某に怪しからぬ振舞ひをして立ち去つたものあり平署では脱ぎ捨てゝ行つた下駄を手掛りとして犯人嚴探中である。

カルタ會の晩の 歡樂の祟り

私生兒認知の訴訟

內郷村大字綴字宮山崎ミエ(二〇)は大正十五年十一月二十日夜同村綴字町の內柴田方のカルタ會に呼ばれ同家に一泊した際同家の長男柴田治三郎(二三)と一回情を通じたのみで姙娠し昨年八月十一日長男正美を分娩したがミエは治三郎に對しその子である事の認知を求めたるも言を左右にして應せぬため平町眞木辯護士を代理人として私生兒認知の訴訟を提起したが九日平支部に於て山崎ミエ側の勝訴になつた。

水道工事の 具体案を作る 茂庭博士來平

平水道擴張工事の設計は茂庭工學博士に依賴中の事屢報の如く博士は去る五月中實地測量をなし圖上設計も出來上つたので十一日午後四時五十分平町に來り暫らく滯在して具体案を決定する事になつたが、八月中旬完了の見込みであると。

平、四倉間 臨時列車廢止

自動車のため

平、四倉間乘合自動車の發達により鐵道列車を利用すると乘車賃十八錢海岸まで十錢合計二十八錢に對し自動車では海岸まで二十五錢乘かへの手數もなく隨時平四倉間を往復し得るので海水浴の客は大抵これを利用するやうになつた □

之がため鐵道側が折角臨時列車を出しても無駄なので今年からは廢する事としその代り木戶行客車が平には空車で歸るので時刻をつめ木戶發午後五時平着六時十分とし廢物利用的の臨時運轉をする豫定で目下鐵道當局で考究中である

令拾壹日ヨリ日本銀行代理店ヲ引受ケ候ニ付國庫ニ關スル事務ハ一般銀行事務ト共ニ便宜取扱申候

昭和三年七月

株式會社 平銀行

五人殺し

死刑求刑

死刑か無罪かその結果を期待されてゐた內郷村大字白水鈴木治八郎(五〇)に對する五人殺し事件の控訴公判は十日宮城控訴院で開廷されたが前回の公判で既に事實その他の審問を終つた事とて直ちに檢事の論告に入り檢事は死刑の求刑をなした、判決は十六日言渡しの筈である。

健康保險の 給付をうけぬ者

磐炭で表彰

健康保險法が實施されてから常磐各炭礦では組合員の假病者の續出に惱まされてゐたが組合員六千余名を擁する磐城炭礦の如きは保險實施以來之等の假病者續出し遂には從業上少なからず支障を來し對策として特別監視員を設けて各從業員の監視をなしたなど頗る手を燒いてゐたが同礦保險組合理事長水野虎三郎氏は昨年から全然保險組合の給付をうけなかつた組合員龜田修藏外四百五十六名を八日午後二時から內郷村宮小學校に集め紀念品を贈つて表彰した。

平町田町青年 鮫川に淸遊

平町田町青年團四十名は十四日鮫川に至り鮎釣り、地曳網等を行ひ一日の淸遊を試みると。

牧野博士 思想講演會

縣主催思想善導講演會は二十一日平町元石城郡役所に開く筈で講師は東京帝國大學教授法學博士牧野英一氏來平する。

▲取消 七月十日掲載平銀行に對する惡宣傳の出所云々の記事は當局に於て關係無之迷惑に候條取消相成度及請求候也

四倉郵便局長

磐城時報社長殿

判檢事

夫々榮轉

平區裁判所兼平支部窪田檢事、同石坂判事、平支部遠藤豫審判事の三氏は近く夫々榮轉する事に内定したと傳へられてゐる。

▲高久統計講演

縣統計課では十三日午前九時から石城郡高久村小學校において統計講演會を開き附近役場吏員、小學校教員、統計調査員その他有志をして受講せしむるが縣からは吉田同課長が出張する。

大野村通信

大野村通信員

石城郡大野村にては過般村民が絶對反對裡に村會に於て十二名中七名の多數に依り工費一萬四千圓を投じて同村大字玉山に在る第一尋常高等小學校に四教室の增築を決議したが村民等は直に村民大會を開催し此の增築案に絶對反對の決議を爲し實行委員は出縣して當局に不認可の運動を試みた大体其諒解を得る處があつたので吉田村長は形勢の非なるに鑑み未だ認可申請書を縣當局に提出しない有樣である、而して村民側の主張は財界不況により農村の疲弊極度に達し居る今日巨額の支出と負擔とは到底忍びないと同時に學校基本金五萬圓が休業せる磐城銀行に預金しあり其融通力が失はれ居る窮狀に加之其增築案たるや裁縫室、手工室、唱歌室、理科室等の全く急を要せざるは勿論裁縫室を除いては全然不用の教室とも言ふを得る程である、之に反して同村大字駒込に在る第二尋常小學校は僅三教室に止まり狹隘甚だしい爲め現に教育上最も弊害極まる複式教授を試み居る狀態故眞に吉田村長始め村會議員が村教育を云々して校舍增築を企つるならば先づ先決問題として第二小學校の增築が急を要するは勿論であるに反し村長及び村會議員等が第一小學校方部出身なる故斯かる如き急を要する第二校を放棄し不要なる第一校の增築を行ひ敢て村教育の破壞と村治の圓滑を自ら破り村財政を各機に陷れたものとして吉田村長に對する不信任の聲が熾烈なる爲め同村長は結局自決の已むなきに陷る如き窮地に在ると同時に今回增築に贊成せる村會議員七名は來年四月の改選期には普選に依る結果として當然再選不可能となり其後に於て始めて村治の圓滑村教育の確立、村財政の安全等が期さるゝものとされてゐる。

映畫界

▲幌馬車（中）

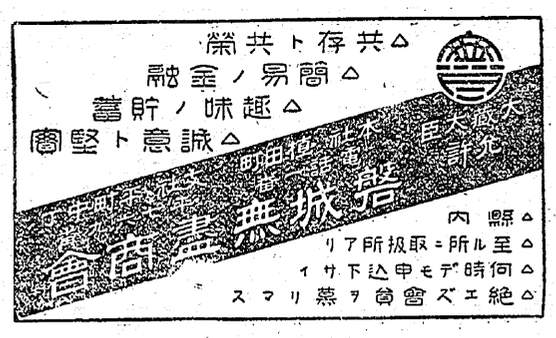
サムはウイルの爲めに仆されて了つた。サムの悪人を知らないモリーはウイルの粗暴を責めた。爭果つべきもなきを愛ひヂエスは已の隊とウイルの隊とを別にした。

ウイルは默としてヂエスの言葉に從ひリウアーテイー隊を率いて他の道を執つた、別れて幾日、遙かなる山を眺め、頂の紫に暮るゝを見る毎に、泌々とモリーの胸に思ひ浮べるのはウイルの面影であつたモリーの心からウイルの姿が消へぬのを恨に思つたサムは隊を離れてウイルを殺害に赴き却つて印度人の爲めに半死半生の目に逢い剩へ戀仇のウイルに助けられた。

朝來明皷の響、蹄の音、渺々たる平原に鳴り響くを聞けばそれは壯快なる野牛狩が催されたのであつた、其日の第一の殊勳者はブリージャー砦の持主のヂム、ブリージャーと云ふ老人で彼はヂャクスンの親友、歸宅の途次幌馬車隊に加つたのである。

島人種の行進は恐怖と憎惡の遣方なく、印度人の一隊は炎天に枯れ切つた草原に火を点じて幌馬車隊を燒き殺さんとしたモリーは焰に包まれて死なんとしたが、急を知つて驅けつけたウイルに助けられた水清き小河の畔、失神したモリーを抱きかゝへてたウイルの心は切なるものであつた。モリーも亦同じ思ひに惱むだやがて幌馬車隊はブリジャー砦に着いた。（平館）

貸家
新川町十七
商店向（月十七圓）
新川町
中野勇吉



平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

印刷物の御用は……加納活版所

相馬野馬追團体
募集
七月十二日午前六時平出發
定員　七十人
會費（晝食附）四圓
往復共自動車
平町二丁目（電話六四〇番）
尼子自動車部

拜啓初夏の候益々御健勝慶賀の至りに奉存候扨て長男秀夫去る五月十三日死亡の際は一方ならざる御心配を辱ふし難有感謝仕候其當時荊妻重病の爲め埋葬相營み兼ね遺骨を火葬に附し今日迄經過致候處荊妻も稍々常体に復したれば來る十七日鄉里會津若松に於て埋葬の心組に有之久しき間斯る事情より公私共凡て遠慮致居候何れ近日御拜眉の上御詫可仕候得共以紙上御報申上候敬具

平町三丁目
昭和三年七月十日　山田忠太郎

喫茶部
增設披露
七月九日より開始致しましたどうぞ、御散歩がてら是非お立寄り下さいませ。

定價表

コーヒー	10
紅茶	10
ミルク	10
ココア	20
ソーダ水	15
アイスクリーム	15
御菓子一皿	10
サンドイツチ	30
トーストパン	10

平町三丁目（平銀行横）
永野喫茶部
キヤンデー第二支店
アイス

◎良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋
◎久釜屋商店
磐城平電話（九一三九番）
◎確實敏捷は◎久の生命なり!!!

新築移轉
合津醫院

◎新輸入亞米利加大建國史
◎十二日より公開
世界的巨篇突如
幌馬車
◎亞米利加・ウマラバ
◎加・印度・ドンウ
◎超大作映畫ジヤツク・オーレー・ケリガン主演……◎幌馬車隊の砂漠橫斷……
◎人類生存の一大悲詩映畫◎闘ふ者の爭ひ◎建國精神ホ遠の記錄……
◎日活時代超大作映畫
原作　山内悟郎
監督　辻吉郎
主演　松本泰輔・久米譲
梅村蓉子・瀬川銀潮
若き日の繁藏
俠客と云ふ集團の中に脊喝強請を常とせる者多き時代、此時超然として眞の俠名を賣る男笹川の繁藏は狂暴無賴の主魁閻魔の寅吉を誅して後事を義弟仁三郎に託し國越えしてから出來事でした、時文政二年春尚淺きころ
◎日活現代超傑作映畫
原作　木村恵吾
監督　田阪具隆
島耕二・瀧花久子
伊東みはる　主演
夫婦全集
睦まじい家庭である夫を三吉と云ふ善良で仕事に眞面目な會社員、妻を美那子と呼び美しい優しい奥樣、結婚して間もない彼等に夢の樣な日が續けられてゐたが、運命の神が併し……樣も余りにも殘々たるその生活を妬りてか一つの余分な苦勞を授けた……？
◎土日聯學生デー
料金普通
平館